東日本大震災・対策本部ニュース

心つないで

No.37

発行

2012年3月19日
東日本大震災
ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉
（ろっこう医療生協・本部内　TEL　078-802-3424）

「我々はまだ闇の中」福島からのメッセージ

■ 東日本大震災から1年目の前日3月10日に、シマブンホールで「支援活動報告集会」を開き、約150人の組合員や職員、一般市民が参加し、福島の現実を学び合いました。

《講演する川添医師・写真上》

《武田理事から川添医師に昨秋の健康まつりでの寄付金が贈呈されました・写真上》

・当日は、福島中央市民医療生協から川添隆司医師（理事長）をお招きし、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能被害に苦しむ実情をくわしく報告していただきました。

・その中で「我々はまだ闇の中にいます。県民の健康管理は国が責任をもってやり、医療費も無料にすべき」と訴え、職員の避難による離職の現実など、参加者はみな真剣に聞き入りました。

・私たちは、大船渡と同様に、引き続き福島へも支援の活動を末長くつづけていくことを誓い合いました。

報告集会を開催 川添医師が報告

・当日は、共同通信、神戸新聞、関西テレビなど多くの報道関係も取材に訪れ、社会的関心の強さがうかがわれました。

『大船渡支援活動・記録集』を発刊しました →→

・被災地の皆さんなど、多くの人びとの手記も満載の「記録集」を制作・発行しました。職員のみなさんにはもちろん、患者・利用者の皆さまにも自由にお持ち帰りいただきます。《写真・右》

いかなご届け隊 いよいよ出発！

●「いかなご届け隊」プロジェクトが今週いよいよ出発します。

・いかなご作りは47人の組合員が72kg分作ってくださいました。すでに宅急便で現地に先に送りました。組合員と職員で構成された「届け隊」のチームが、今週20日に大船渡へ12人、来週26日に福島へ8人が出発し、それぞれ被災者の方たちに配りながら訪問や交流をします。いかなごに添えるメッセージカードにぜひひと言書いてください（3/24回収期限）。